実務経歴証明書記入例（①：建築物の設計に関する場合）

富建士様式第１号の３

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月 〇〇日

富山県指定登録機関
公益社団法人富山県建築士会会長　殿

証明者　株式会社〇〇建築設計事務所
代表取締役所長　登 録 太 郎
〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所又は所在地　〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号　〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇
（担当 （株）〇〇建築設計事務所 〇〇部 免許一郎
TEL 〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇）

免許申請者との関係　申請者が所属する建築士事務所の開設者

次の者が申請した二級建築士（木造建築士）免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

１　免許申請者氏名　建築 士郎

２　建築実務経験

⑴　建築実務経験期間の合計　２ 年　０ 月

⑵　建築実務の内容

・病院（鉄筋コンクリート造３階建て、延べ面積２，５００㎡）の設計与条件の整理を担当。
・小学校（木造３階建て、延べ面積３，０００㎡）の基本設計・実施設計の補助を担当。
・事務所ビル（鉄筋コンクリート造５階建て、延べ面積２，０００㎡）の基本設計の補助を担当。

備　考
１　この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
２　使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
３　虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分又は告発の対象となり得る。

実務経歴証明書記入例（③：建築物の指導監督に関する場合）

富建士様式第１号の３

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月 〇〇日

富山県指定登録機関
公益社団法人富山県建築士会会長　殿

証明者　〇〇株式会社
登 録 太 郎
〇〇県知事登録 第〇〇号
〇〇建築士登録 第〇〇号

住所又は所在地　〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号　〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇
（担当 〇〇株式会社 〇〇部 〇〇課 免許一郎
TEL 〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇）

免許申請者との関係　申請者が所属する建築士事務所の所属建築士

次の者が申請した二級建築士（木造建築士）免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

１　免許申請者氏名　建築 士郎

２　建築実務経験

⑴　建築実務経験期間の合計　2 年　0 月

⑵　建築実務の内容

・住宅瑕疵担保責任保険の検査業務において、木造・鉄骨・鉄筋コンクリート造の住宅について、下記の項目に関する現場検査の補助を担当。（〇件）
・木造（基礎配筋、構造部材寸法、筋違寸法、補強金物、防水処理等）
・鉄骨造（基礎配筋、構造部材、防水処理等）
・鉄筋コンクリート造（基礎配筋、躯体配筋、防水処理等）

備　考
１　この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
２　使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
３　虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分又は告発の対象となり得る。

実務経歴証明書記入例（⑤：施工の技術上の管理に関する場合）

富建士様式第１号の３

実務経歴証明書

令和〇〇年〇〇月 〇〇日

富山県指定登録機関
公益社団法人富山県建築士会会長　殿

証明者　〇〇建設株式会社
代表取締役社長　登 録 太 郎

住所又は所在地　〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地

電話番号　〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇
（担当　（株）〇〇建設株式会社 〇〇部 〇〇課 免許一郎
TEL 〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇）

免許申請者との関係　申請者が所属する法人の代表者

次の者が申請した二級建築士（木造建築士）免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

１　免許申請者氏名　建築 士郎

２　建築実務経験
⑴　建築実務経験期間の合計　2 年　0 月
⑵　建築実務の内容

・複合用途ビル（鉄筋コンクリート造７階建て、延べ面積 1,550 ㎡）の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。
・事務所ビル（鉄筋コンクリート造５階建て、延べ面積 1,850 ㎡）の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。

備　考
１　この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
２　使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
３　虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分又は告発の対象となり得る。

■ 申請する実務を行った会社が倒産している場合は、以下の３点をご確認ください。
●以下の記入例を参考に必要事項をご記入ください。
●実務経歴書と併せて、当該会社に属していたことを証する書類（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）を提出してください。
●実務経歴証明書の下の余白に会社が倒産したことを記してください。
　また、当該会社に属していたことを証する書類として提出する書類名を記入してください。（源泉徴収票、社会保険加入記録書など）

実務経歴証明書記入例（会社が倒産した場合）

富建士様式第１号の３

実務経歴証明書

申請日を記入

令和〇〇年〇〇月 〇〇日

富山県指定登録機関
公益社団法人富山県建築士会会長　殿

「証明者」は記入不要

株式会社〇〇建築設計事務所　　証明者
〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地
〇〇－〇〇〇〇－〇〇〇〇

住所又は所在地

電話番号

「免許申請者との関係」は記入不要

免許申請者との関係

次の者が申請した二級建築士（木造建築士）免許申請書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

空白部分に、実務を行った会社の名称、所在地、電話番号※を記入。
※所在地・電話番号が不明の場合は、無記入でも構いません。

１　免許申請者氏名　　建築 士郎

２　建築実務経験
　⑴　建築実務経験期間の合計　　２ 年　　０ 月
　⑵　建築実務の内容
　・病院（鉄筋コンクリート造３階建て、延べ面積２，５００㎡）の設計与条件の整理を担当。
　・小学校（木造３階建て、延べ面積３，０００㎡）の基本設計・実施設計の補助を担当。
　・事務所ビル（鉄筋コンクリート造５階建て、延べ面積２，０００㎡）の基本設計の補助を担当。

備　考
１　この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成すること。
２　使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明すること。
３　虚偽の証明を行った場合、証明者は、建築士法上の処分又は告発の対象となり得る。

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、〇〇を提出します。

【記入例】
上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。
当該会社に属していたことを証する書類として、●●を提出します。
※倒産した日付が不明の場合、日付は記入不要。